

Paper Works “Life”

山口まち子
Machiko Yamaguchi

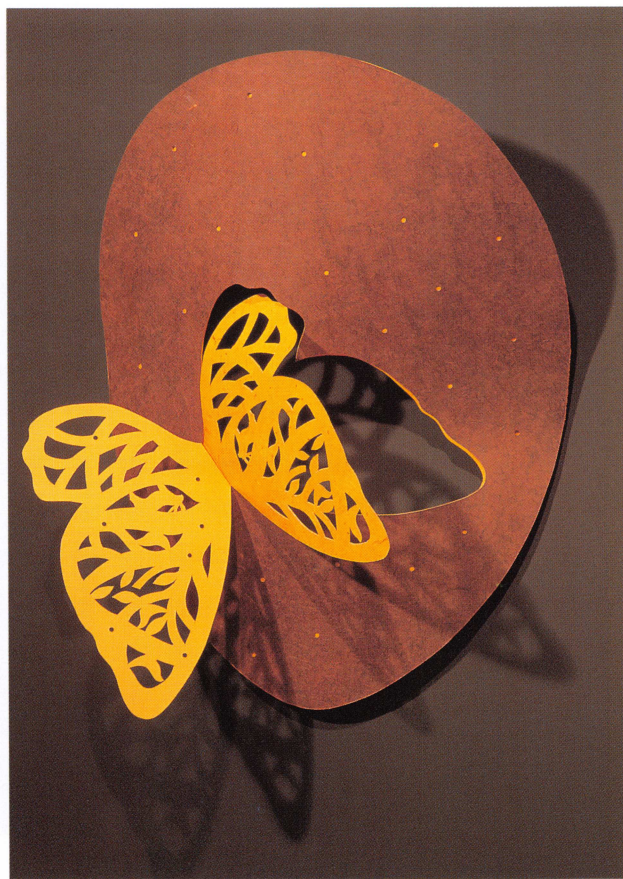
一枚の紙からつくりあげる立体と空間。堅固な素材と比べ、紙は折り目の角度が自由に変化し、曖昧さがともなう。また、立体面も歪みが生じ、形が決まらず悩みの種となることも多い。

なぜ紙を使うのか。それは、紙に触ってみるとわかる。紙肌の感触が伝わり視覚イメージの中に生かされてくる。

素材からの発想。特に手漉き紙は、柔軟性、均一でない質感のおもしろ味や素朴さがデザインの持ち味となる。

また、平面である紙を折ったり切ったりすることで、様々な立体や空間をつくることができる。また、空間を意識すると視覚イメージに広がり加わり、平面から生まれる視覚空間は表裏の区別もなく、裏面が表になり、表面が裏になったりして非常に創造的である。

この作品は、未来に向けたキーワード、Life（生命）をテーマに制作し、神秘のカプセル、種子や繭などを表現モチーフのベースに使い、次へつながる生命の様々な関係を表している。













Paper trip “Life” 紙による制作 妙香園画廊／2002年

撮影 山口典利

Photograph Noritoshi Yamaguchi